

睡眠制御機構研究の最前線



講師：条 和彦 教授

名古屋市立大学 大学院医学研究科
神経薬理学分野

日時：2023年11月17日（金）17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス

医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンラインでの参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。

URL : <https://us02web.zoom.us/j/84142196224>



100年以上前に、日本(名古屋大学の前身)とフランスの生理学者が、断眠した動物の脳に睡眠を誘導する物質を発見したという研究を発表した。それ以後、世界中の多くの科学者が、この睡眠物質を追い求めて研究を進めたが、真の生理的な睡眠物質と考えられるものは、とうとう見つからず、睡眠物質は、幻で終わってしまった。その結果、睡眠の量的な制御機構、つまり、なぜ、私たちは眠くなって、毎日眠るのかという根本的な問いは謎に戻った。しかし、最近になって、ようやく睡眠制御機構の分子機構を説明するための仮説が提唱されるようになった。その駆動力となったのは、強力な分子遺伝学による網羅的な解析と、多様な生物種を用いた睡眠研究の広がりである。私たちのグループは、ショウジョウバエをモデル生物とする睡眠研究で世界をリードしてきた。本講演では、昆虫から哺乳類まで、広く保存される行動原理としての睡眠の制御機構の研究の進展と、最新の仮説を紹介する。

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp